

防災を考える。

Vol.7

東日本大震災から3年を経過した今、
あらためて防災について考えてみましょう。

「火災」から身を守る

日頃から生活習慣を見直し、火災を起こさないよう
防火意識を高めましょう。

火災発生時の鉄則

◎防火を心掛けていても、
火災が起きてしまった場合
の鉄則です。

①まず大声で知らせる。
・「火事だ〜！」と大声を出
し、家族や近所に知らせ
る。

・小さな火でも119番通
報。自分で通報できない
ときは、近くの人に通報
を頼む。

※臨機応変に最善の対処を。
②早く消火する。

・出火から5分以内が消火
できる限界。

・水や消火器だけでなく、
座布団でたたく、布団を
かぶせて密閉するなど機
転を利かせて消火に当たる。

③早く逃げる。

・天井に火が燃え移ったら
あきらめてすぐ避難。
・避難する時は、燃えてい
る部屋の窓やドアを閉め
て。

火災対策

・もしも火事起きてしま
ったら、こうする！
・消火器がない場合は、ぬ
れたシーツなどを広げて
火元全体を包み、空気を
遮断する。
・煙の中を逃げる時はでき

るだけ姿勢を低くして。
ぬれタオルで口を覆うな
どして煙を避ける。

・ぬらしたタオルなどで顔
や体を覆う。炎の中は一
気に走り抜ける。

・逃げ遅れた人がいる時
は、近くの消防隊にすぐ
知らせる。

・いったん外へ逃げたら再
び中には戻らない。
・避難は、お年寄り、子供、
病人を最優先。

・「火事だ〜！」の声を聞い
たらすぐ119番通報。
だれかが通報しているだ
ろうと考えず、重なって
も良いから直ちにダイヤ
ルを。
・服装や持ち物にこだわら
ず、できるだけ早く避難
する。

・天井に燃え移ったらもう
手に負えない。消火をあ
きらめ、できるだけ早く
避難する。
・カーテンは力いっぱい引
きずり下ろし、天井へ火
が燃え移らないようにす
る。

・ふすまや障子戸は思い切
り蹴り倒し、低い位置で
消火。

119番の通報手順

◎火災を発見したら直ちに
119番通報をしましよ
う！

火事か救急かを明確に伝
え、消防署員の質問にはつ
きりと答えましょう。正確
な住所はもちろん、具体的
な目標や状況を伝えること
で、消防車の少しでも早い
到着につながります。住所
が分からない場合でも、目
標となる大きな建物や公共
施設、信号機などの住所表
示を知らせましょう。
①火事か救急かをはっきり
伝える。

②住所を正確に伝える。
③何が(だれが)どうした
か状況を伝える。
④通報者の氏名と電話番号
を伝える。

※119番は緊急電話です
から、緊急時以外にかけ
るのはやめましょう。

てんぷら鍋火災の消火など

◎各場面で役に立つ消火方
法を心得ておきましょう！

発見後の数分間が被害の
大小を決めるといわれる火
災。消火器は使い方を覚え、
すぐ取り出せる場所に設置
した上で、万一の時に備え
ましょう。さらに、場面ご
との消火方法を身に付けて
おきましょう。

★油鍋

水をかけない。元栓を閉
め、大きなふたをして空
気を断つか、シーツなどを濡
らして手前からかける。

★消火器の正しい使い方
①安全ピンに指をかけて上
に引き抜きます。

②ホースを外して火元に向
けます。(できるだけホー
スの先端を持つ)

③レバーを強く握ると消火
剤が噴射されるので、煙
や炎ではなく、火元に吹
き付けます。